

目で見る日本語音の産生

エレクトロパラトグラフィ(EPG)を用いて

約43分 3,600円(税込)

監修・解説 山本一郎 山本歯科医院 矯正歯科クリニック 院長
藤原百合 聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部言語聴覚学専攻 教授
製作・著作 EPG研究会

「さかな」を「たかな」と間違って発音している場合……
「さ」と「た」の構音器官の動きの違いはどうなっているのか？
このDVDはその違いをわかりやすく視覚化しました。

私たちが毎日話している日本語、その音声を生み出すには発声・発語器官といわれる多くの器官の絶妙な協調運動が行われています。

このDVDは、外面からは見えにくいこれらの器官の協調運動を、わかりやすく映像化しました。内視鏡やX線造影ビデオ、エレクトロパラトグラフィ(EPG)というシステムを用いて、口唇や舌、咽喉頭などの動きを観察することができます。

言語聴覚士になるために勉強中の学生の皆さんにも全編が役に立つ内容です。

DVDのメニュー

発声・発語機能 - 4つのプロセス-

1. 呼吸
2. 発声
3. 共鳴
4. 構音

EPGのシステム紹介

日本語音産生の観察

- 1) 直音

母音と半母音 破裂音 摩擦音 破擦音 弾音 通鼻音 鼻濁音

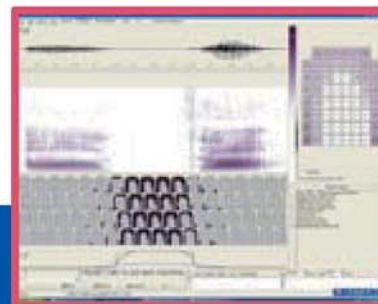
- 2) 拗音
- 3) 撥音
- 4) 促音
- 5) 長音
- 6) 短文



内視鏡による喉頭の運動



X線造影ビデオによる
発声発語器官の運動



エレクトロパラトグラフィ(EPG)による、
舌が口蓋に接触する様子

※ 全部の内容を通して見ることができます。
メニューから選んで特定の音の構音器官の動きを繰り返し見ることもできます。
「さ行」なら、摩擦音の部分を選んでみるができます。

